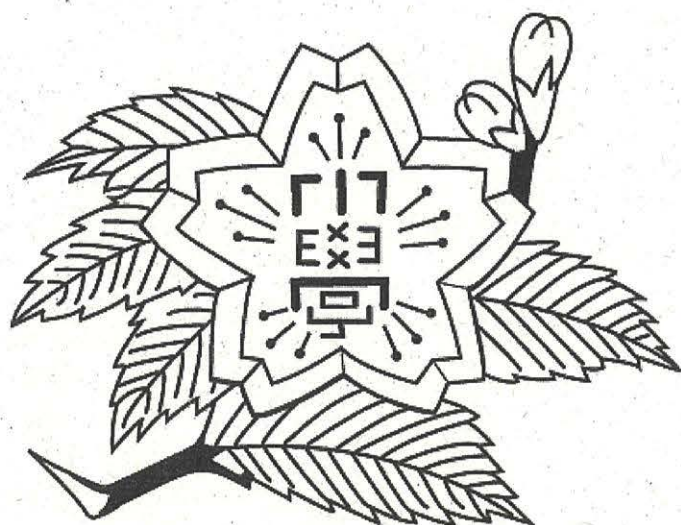


令和 6 年度
学校評価報告書



令和 7 年 3 月
富山大学教育学部附属小学校

学校評価報告書 目次

I	はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
II	学校運営に関する評価計画	・ ・ ・ ・ ・ 1
III	重点的な取組	・ ・ ・ ・ ・ 2
IV	学校評価結果（教員・保護者・児童）	・ ・ ・ ・ ・ 4
	・ 前期評価	
	・ 後期評価	
V	第1回学校評議員会より	・ ・ ・ ・ 2 2
	・ 中間評価の結果・考察・改善事項を伝える	
VI	第2回学校評議員会より	
	・ 年度末評価の結果・考察・改善事項を伝える（3月6日開催）	・ ・ ・ ・ 3 3

I はじめに

1 教育目標

「奇跡の星「地球」に生きる、心豊かでたくましく創造的な人間の育成」

2 目指す子供像

「自ら考え判断し、行動できる子供」

【知】学力向上と家庭学習の充実

【徳】豊かな心づくり

【体】健康な体づくり

3 教育方針

- ◇ 豊かな体験とふれあいの中で、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成し、全人的な教育活動を推進する。
- ◇ 子供が、自分らしい生き方を実現していけるように、子供のよさを積極的に見いだし、自発的・自主的な学習を促し、子供が自信をもてるようにする。
- ◇ 子供の個性と創造性の伸長に資するように、基礎・基本の指導の徹底を図る。
- ◇ 教師と子供相互の信頼関係を築き、学び合い励まし合い、明るく楽しい学校環境を整える。
- ◇ 教師と保護者の信頼関係を深め、学校と家庭のそれぞれの機能を効果的に発揮させつつ、学校と家庭が一体となって子供の健全な育成を図る。

上記の学校教育目標及び教育方針の達成のために、学校関係者評価及び自己評価を実施し、学校運営に資するものとする。また、学校評議員からの助言を学校運営に生かしていく。

II 学校運営に関する評価計画

- 4 月 学校運営に関する共通理解と取組の推進
- 7 月 中間評価の実施（教員による評価及び保護者アンケート、児童アンケート）
学校評価委員会（集計結果を基に考察し、改善方策の決定）
- 8 月 学校評価を基に取組改善の推進
- 9 月 第1回学校評議員会（中間評価の考察と9月以降の改善策の報告、意見交換）
- 12 月 年度末評価の実施（教員による評価及び保護者アンケート、児童アンケート）
学校評価委員会（集計結果を基に考察し、改善方策の決定）
- 3 月 第2回学校評議員会（中間評価の考察と新年度に向けた改善策の報告、意見交換）
本年度の振り返り及び次年度に向けての共通理解

Ⅲ 重点的な取組

附属小学校に求められている使命や役割、学校の現状を踏まえ、「自ら考え判断し、行動できる子供」を目指して、以下の取組を行う。

1 【知】学力向上と家庭学習の充実

- ・ 確かな教材研究と子供理解に徹する。
- ・ 専科指導体制を整える。
- ・ 授業において、学習専用端末を効果的に活用する。
- ・ 家庭学習のガイドラインを作成し、家庭と連携しながら自学自習できる力を育む。

2 【徳】豊かな心づくり

- ・ 温かな心の育成を目指して、「全校一斉あったかハート推進週間」に取り組む。月に1回、道徳科・学級活動を中心とした授業を実施し、内容を発信する。
- ・ いじめを許さない雰囲気高めるための全校集会「あったかハート集会」を実施する。
- ・ 互いに温かなメッセージの花を咲かせる「あったかハートの木」を掲示する。また、「あったかハートTV」で日々の授業や学校行事であふれる笑顔の写真を紹介したり、授業で学習した曲や習い事で取り組んでいる曲を発表する「ちござくらコンサート」を開催したりする。
- ・ 落ち着いた環境で過ごすために、週1回、「身の回りの整頓タイム」を設ける。
- ・ 1年生から6年生までの縦割り班による「なかま活動」を実施する。
- ・ 年間を通して、1年生と6年生が交流する活動を行う。また、1年生と幼稚園年長児、5年生と幼稚園年長児、4年生と特別支援学校児童生徒が交流する活動を行う。
- ・ 学校生活に関するアンケートや教育相談を定期的実施し、いじめの未然防止に努める。
- ・ 毎週、気になる児童の情報交換を行い、生徒指導事案等の情報を全教職員で共有する。いじめと疑われる行為を発見、または、相談・通報を受けた場合は、速やかに学校安全管理室に報告し、組織的に対応する。
- ・ 全教職員や保護者を対象とした、いじめについての研修会を行い、いじめ問題への理解を深め、対応スキルの向上と組織的対応に努めている。保護者を対象とした講演会や児童による集会、附属学校園教職員、教育学部教職員を対象とした研修会も行っている。今年度実施した研修会や講演会、集会は、以下のとおりである。

◇4月2日（火） いじめ防止対策基本方針の共通理解

対 象：附属小学校教職員

◇4月19日（金） いじめ防止対策基本方針の共通理解

対 象：附属小学校保護者

◇7月22日（月） 事例をもとにしたいじめ対応スキル向上研修（事例研修）

テーマ：早期発見・早期対応のために

講 師：濱野 恵美 先生（富山県総合教育センター教育相談部客員研究主事）

長谷川昌也 先生（富山県総合教育センター教育相談部主任研究主事）

対 象：附属小学校教職員

◇8月27日(火) いじめ問題理解研修(伝達講習)

内 容: いじめ問題の基礎的理解と組織的対応

資 料: 令和6年度いじめ問題理解基幹研修(独立行政法人教職員支援機構)

対 象: 附属学校園教職員

◇9月3日(火) いじめ共通理解研修(児童理解講演会)

テーマ: 「親を学び伝える学習プログラム」を体験

講 師: 神川 康子 先生(富山大学名誉教授、元附属小学校校長、「親学びノート」監修)

対 象: 附属小学校保護者、附属小学校教職員

◇10月9日(水) いじめ防止のための集会①(学校保健委員会)

テーマ: たっぷり睡眠 心も体も元気いっぱい

講 師: 神川 康子 先生(富山大学名誉教授、エムール睡眠・生活研究所所長)

対 象: 1～6年生、附属小学校保護者、附属小学校教職員

◇12月3日(火) いじめ防止のための集会②(全校集会)

集会名: あったかハートを大きくしよう集会

対 象: 1～6年生、附属小学校教職員

◇12月20日(金) いじめ防止等に関する研修(伝達講習)

内 容: いじめに関する全国の状況について、いじめに関する直近の国の取組について
いじめを未然に防止するために～求められる認識の転換～

資 料: 令和6年度いじめ防止等に関する普及啓発協議会(文部科学省初等中等教育局児童生徒課)

対 象: 附属小学校教職員

◇2月5日(水) いじめ問題対応研修

講 師: 飯島 有哉 先生(富山大学人文学部講師、臨床心理士、公認心理師)

対 象: 教育学部教職員、附属学校園教職員

3 【体】健康な体づくり

- ・「なかま活動」で、晴れた日は外遊び、雨の日は8の字跳びに取り組む。
- ・Q-U調査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)や「とやまゲンキッズ作戦」を実施する。
- ・望ましい生活習慣を身に付けられるよう、養護教諭による保健指導を行う。

IV 学校評価結果（教員・保護者・児童）

令和6年7月1日

保護者 各位

富山大学教育学部附属小学校
校長 原野克憲

「学校運営に関するアンケート」の実施について（お願い）

夏至の候 保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、本年度も、目指す子供の姿を「自ら考え判断し行動できる子供」とし、重点課題を絞って学校運営を行っています。

つきましては、前期の前半を終えるにあたり、4月からの学校の取組やお子様の様子について、保護者の皆様からご意見をいただき、今後の学校運営の参考にしたいと思います。なお、アンケートは、Google Classroomに配信したフォームにてご回答ください。ご多用のこととは存じますが、下記のとおりご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1 アンケート回答の手順

- ① Google Classroomに保護者アカウントでログインしてください。

※兄弟姉妹がおられる場合は、複数の保護者アカウントをもっておられます。お手数ですが、お子さんごとに、それぞれの保護者アカウントでログインし、回答をお願いします。

- ② 「全校の保護者の方への連絡」→「7月のおたより」→「学校運営に関するアンケート」にあるフォームにてアンケートにお答えください。最後に「送信」ボタンを押してください。
- ③ 本アンケートは、保護者アカウントと選択された学級及び名前でご回答済みかどうかを確認しています。学級及び名前の選択間違いがないようお願いいたします。
- ④ 送信後に回答内容を変更されたい場合、締切日までは再度回答することができます。
- ⑤ パソコンやスマートフォンで回答される際、アカウントが勝手に切り替わり、回答できないことがあるようです。その場合は、Chromebookでの回答をおすすめします。
- ⑥ 自由記述には、よりより学校をつくり上げていく上で、建設的なご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。

※書いていただいたご意見やご要望については、職員会議で検討した学校の考えを併せて、学校だよりで公開する予定ですが、以下の内容に関しては削除、部分的に変更します。

- ・個人（児童、保護者、教員、学級）が特定される内容
- ・個人的なことについて書かれたと思われる内容
- ・他校への配慮を要する内容

2 回答の締め切り日

令和6年7月8日（月）

令和6年度(7月)学校運営に関するアンケート回答用紙(保護者用) ※フォームにて回答

お子様の学年・組・名前 (年 組 名前)

1 学校運営全体の取組について

次の質問事項はあてはまりますか。(4～1に○を付けてください)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

番号	質 問 事 項	回 答
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	4 3 2 1
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	4 3 2 1
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	4 3 2 1
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	4 3 2 1
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	4 3 2 1
6	学校は、自主性、自立性(子供の学ぶ意欲、やり抜く力等)を高めようとしている。	4 3 2 1
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	4 3 2 1
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	4 3 2 1
9	学校は、道德教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	4 3 2 1
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	4 3 2 1
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	4 3 2 1
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	4 3 2 1
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	4 3 2 1
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	4 3 2 1
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	4 3 2 1

2 保護者から見てのお子様の様子を選んでください。(4～1に○を付けて下さい)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

番号	質 問 事 項	回 答
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている。	4 3 2 1
2	子供は、授業を楽しみにしている。	4 3 2 1
3	子供は、進んであいさつをしている。	4 3 2 1
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。	4 3 2 1
5	子供は、登下校中(歩くことやバス、電車等で)、安全の決まりやルールを守っている。	4 3 2 1
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	4 3 2 1
7	子供は、進んで運動しようとしている。	4 3 2 1
8	子供は、姿勢に気を付けている。	4 3 2 1

3 自由記述

よりよい学校を目指して、建設的なご意見やご要望等がありましたらご記入ください。

令和6年度(7月) アンケート回答用紙(児童用) ※フォームにて回答

(年 組 名前)

1 あてはまるものをえらんでください。(1～4に○を付けてください)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

番号	質 問 事 項	4	3	2	1
1	がっこう たの 学校は 楽しい。				
2	じゅぎょう たの 授業は 楽しい。				
3	すす 進んであいさつをしている。				
4	おも ことば つか 思いやりのある 言葉を 使っている。				
5	とうげこうちゅう ある でんしゃ あんぜん まも 登下校中 (歩くことやバス、電車で)、 安全のルールやマナーを守っている。				
6	がっこう いえ はな そうだん 学校であったことを、家で 話したり 相談したりしている。				
7	すす うんどう 進んで 運動している。				
8	じゅぎょう きゅうしよく しせい き 授業 や 給食 のときの 姿勢に 気をつけている。				

令和6年度7月実施 教員アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上) 3.2以上3.6未満(80%以上90%未満) 2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)
2.4以上2.8未満(60%以上70%未満) 2.4未満(60%未満)

平 均			各評価の割合(%)			
R5.7	R5.12	R6.7	4	3	2	1

1. 学校教育目標

1 本校の教育課題等について、教職員でよく話し合っている。	3.1	3.4	3.3	27.8	72.2	0.0	0.0
2 教育活動全般にわたって評価を行い、次の計画に生かしている。	2.7	3.2	3.1	16.7	77.8	5.6	0.0

2. 運営・組織

1 校長、副校長は自らの教育理念や学校運営についての考えをもって、リーダーシップを発揮している。	3.2	3.5	3.3	38.9	55.6	5.6	0.0
2 教職員一人一人の能力や適正を配慮した分掌がなされている。	2.8	3.2	3.1	27.8	55.6	16.7	0.0
3 各分掌相互の連絡・調整が円滑に行われ、有機的に機能している。	2.8	3.0	3.1	27.8	55.6	16.7	0.0
4 教職員の意見が反映され、意欲的に取り組める環境となっている。	3.0	2.9	3.1	22.2	66.7	5.6	5.6
5 日々の教育活動における問題意識や悩みについて気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。	3.3	3.4	3.2	22.2	72.2	5.6	0.0
6 事故、事件が発生した場合、組織的に連携し、適切に対応している。	3.4	3.7	3.4	50.0	44.4	5.6	0.0
7 不審者対応、危機管理などに対する未然の対策が適切に考えられている。	3.0	3.2	3.2	38.9	50.0	5.6	5.6
8 要修繕箇所発見時、報告・連絡により迅速な修繕や原因確認・再発予防に備えている。	2.7	3.1	2.8	16.7	55.6	16.7	11.1
9 教職員一人一人が服務に対する厳しい自覚を持続している。	3.1	3.2	3.1	16.7	72.2	11.1	0.0
10 職員会議の運営方針が明確であり、効率よく行われている。	3.3	3.4	3.4	44.4	50.0	5.6	0.0
11 学級経営のスキルなどが継承されている。	2.7	2.7	2.8	11.1	66.7	11.1	11.1

3. 施設・設備

1 教材・教具の整備と管理に努めている。教室や特別教室の環境整備を計画的に行っている。	2.8	3.2	3.1	11.1	83.3	5.6	0.0
2 教職員が役割分担をし、施設・設備の効率的な活用と管理、安全点検をしている。	3.2	3.5	3.2	27.8	61.1	11.1	0.0
3 教科に必要な教材・教具、最新の機器などが充実している。	2.7	3.2	3.0	16.7	66.7	16.7	0.0

4. 開かれた学校・附属の役割

1 保護者への情報発信が十分行われている。	3.6	3.7	3.6	61.1	33.3	5.6	0.0
2 保護者の意見を十分聞いている。また、願いに応じている。	3.4	3.7	3.6	66.7	27.8	5.6	0.0
3 地域の教育力を活用している。	2.4	2.4	2.3	0.0	50.0	33.3	16.7
4 異校種間の連携を十分に図っている。	2.8	3.2	2.9	16.7	61.1	16.7	5.6
5 大学との連携を十分に図っている。	3.2	3.5	3.2	33.3	55.6	5.6	5.6
6 教生、学生への指導を行い、優秀な教員（人間）の育成に努めている。	3.3	3.5	3.5	50.0	50.0	0.0	0.0

5. 生徒指導

1 家庭や地域、関係機関との連携を図るために情報交換をしている。	3.6	3.6	3.3	33.3	66.7	0.0	0.0
2 教育相談のシステムが機能し、児童の心の問題に対処している。	3.4	3.4	3.1	38.9	44.4	5.6	11.1
3 少年団活動について理解・協力し、適切に指導ができています。	2.8	2.8	2.8	11.1	66.7	11.1	11.1
4 バスマナーなど公共ルールに対する指導ができています。	2.9	2.9	3.1	22.2	66.7	11.1	0.0
5 挨拶など基本的生活習慣に対する指導ができています。	2.9	2.9	3.1	22.2	66.7	11.1	0.0

6. 情報

1 個人情報及び電子データの管理を適正に行い、保護の徹底を図っている。	3.6	3.7	3.3	33.3	66.7	0.0	0.0
-------------------------------------	-----	-----	-----	------	------	-----	-----

2	文書の収受の処理については、適切な処理手順に沿っており、諸帳簿の保管・管理及び期間・場所について、適正に実施されている。	3.5	3.6	3.5	50.0	50.0	0.0	0.0
---	--	-----	-----	-----	------	------	-----	-----

7. 研修

1	これまでの研修・研究の成果を生かし、校内研修を計画的に推進し、実践の場で生かしている。	3.2	3.5	3.4	50.0	44.4	5.6	0.0
2	外部団体（小教研、教育会、ほか）の研修に参加し、研修の機会を増やすようにしている。	3.4	3.7	3.6	55.6	44.4	0.0	0.0
3	学習指導要領の趣旨を理解し、研修を進めようとしている。	3.7	3.8	3.7	66.7	33.3	0.0	0.0

8. 教科指導

1	教科ごとに、基礎・基本の定着を図るため、指導計画と指導方法の工夫に努めている。	3.4	3.7	3.7	72.2	27.8	0.0	0.0
2	一人一人の個性やよさを生かす指導や評価を工夫している。	3.4	3.5	3.4	38.9	61.1	0.0	0.0
3	発展的な学習や補充的な学習が促進される学習指導の工夫がなされている。	3.4	3.6	3.5	55.6	38.9	5.6	0.0
4	問題解決的な学習や体験的な活動を取り入れ、児童に対応した確かな学力の育成に努めている。	3.5	3.6	3.5	55.6	38.9	5.6	0.0
5	児童に対して適切な家庭学習が与えられている。	3.1	3.4	3.4	55.6	33.3	11.1	0.0
6	学習が遅れがちな児童への対策を全校的な課題として取り組んでいる。	2.3	2.8	2.7	11.1	50.0	33.3	5.6
7	児童の発達段階を踏まえ総合的な学習の時間の指導計画を立案し主体的な活動を支援する工夫がなされている。	2.9	3.3	3.1	33.3	50.0	11.1	5.6
8	様々な体験を生かすとともに、資料や発問を工夫し、内面的な自覚を深める道徳の授業の指導に努めている。	3.3	3.4	3.4	38.9	61.1	0.0	0.0
9	学校行事について、児童にとって魅力あるものとするために工夫・改善を行っている。	3.3	3.3	3.2	27.8	61.1	11.1	0.0
10	児童会活動を自主的にできるように学校全体で支援を行っている。	2.6	3.1	2.9	16.7	61.1	16.7	5.6
11	専科指導体制は有効である。	3.3	3.3	3.4	44.4	50.0	5.6	0.0

9. 重点課題等

1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている	3.4	3.3	3.1	22.2	72.2	0.0	5.6
2	子供は、授業を楽しみにしている	3.4	3.3	3.3	33.3	66.7	0.0	0.0
3	子供は、進んであいさつをしている	2.9	2.9	3.0	11.1	77.8	11.1	0.0
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている	2.6	2.9	2.9	11.1	66.7	22.2	0.0
5	子供は、登下校中（歩くことやバス、電車等で）、安全の決まりやルールを守っている。	2.6	2.5	2.6	5.6	55.6	33.3	5.6
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	3.2	3.2	3.0	11.1	83.3	0.0	5.6
7	子供は、進んで運動している	3.3	3.0	2.9	11.1	72.2	16.7	0.0
8	子供は、授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	2.4	2.6	2.7	5.6	61.1	33.3	0.0

令和6年度7月実施 保護者アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上) 3.2以上3.6未満(80%以上90%未満) 2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)
2.4以上2.8未満(60%以上70%未満) 2.4未満(60%未満)

1. 学校運営全体の取組について

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5	3.6	3.4	3.4	3.6	3.5	3.4	3.5	3.5
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	3.8	3.6	3.6	3.6	3.4	3.7	3.5	3.5	3.5	3.7	3.5	3.6	3.6
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.6	3.3	3.4	3.5	3.5	3.4	3.7	3.5
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.7	3.5	3.4	3.7	3.8	3.5	3.7	3.6
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4	3.6	3.6	3.4	3.6	3.5
6	学校は、自主性、自立性（子供の学ぶ意欲、やり抜く力等）を高めようとしている。	3.8	3.7	3.7	3.5	3.5	3.7	3.4	3.4	3.8	3.8	3.6	3.7	3.6
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	3.5	3.6	3.3	3.3	3.3	3.4	3.1	3.2	3.3	3.5	3.3	3.5	3.4
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.3	3.1	3.3	3.5	3.2	3.2	3.5	3.3
9	学校は、道徳教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	3.9	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	3.4	3.4	3.6	3.7	3.6	3.5	3.6
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	3.7	3.8	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.6	3.5	3.3	3.5	3.4
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.1	3.5	3.5	3.2	3.4	3.4
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.5	3.5
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	3.8	3.7	3.4	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5	3.5
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	3.7	3.7	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.2	3.6	3.5	3.4	3.7	3.5

2. 目指す子供像、重点課題等への取組について

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている。	3.8	3.5	3.8	3.7	3.3	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6
2	子供は、授業を楽しみにしている。	3.7	3.5	3.5	3.5	3.1	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5	3.3	3.5	3.4
3	子供は、進んであいさつをしている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1	3.0	3.4	3.2
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。	3.2	3.2	3.3	3.3	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.2	3.2	3.5	3.2
5	子供は、登下校中（歩くことやバス、電車等で）、安全の決まりやルールを守っている。	3.5	3.3	3.3	3.4	3.5	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	3.7	3.7	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.1	3.1	3.5	3.4
7	子供は、進んで運動しようとしている。	3.7	3.6	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4
8	子供は、姿勢に気を付けている。	2.9	2.9	2.8	2.8	2.5	2.5	2.7	2.5	2.6	2.5	2.7	2.8	2.7

令和6年度7月実施 児童アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上)

3.2以上3.6未満(80%以上90%未満)

2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)

2.4以上2.8未満(60%以上70%未満)

2.4未満(60%未満)

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	学校は楽しい。	3.7	3.8	3.9	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
2	授業は楽しい。	3.7	3.8	3.9	3.6	3.3	3.4	3.5	3.7	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6
3	進んであいさつをしている。	3.5	3.7	3.9	3.5	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.7	3.6
4	思いやりのある言葉を使っている。	3.4	3.4	3.9	3.5	3.3	3.4	3.5	3.4	3.3	3.5	3.6	3.7	3.5
5	登下校中（歩くことやバス、電車で）、安全のルールやマナーを守っている。	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.9	3.9	3.7
6	学校であったことを、家で話したり相談したりしている。	3.1	3.6	3.9	3.3	3.3	3.3	3.6	3.5	3.4	3.4	3.5	3.7	3.5
7	進んで運動している。	3.6	3.5	3.9	3.6	3.6	3.4	3.6	3.7	3.4	3.3	3.6	3.5	3.6
8	授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	3.3	3.0	3.8	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	2.9	3.3	3.3	3.3



学校運営に関するアンケート

7月には、学校運営に関するアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。年に2回ではありますが、保護者の皆様からご意見をいただく機会の大切さを改めて感じました。今後も、「自ら考え、判断し、行動できる子供」の育成を目指し、いただいたご意見をもとに改善できることは改善しながら学校運営に努めていきます。

学校運営全体の取組について（保護者アンケートより）

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

項目	質問事項	R6 7月	R6 1月	R5 7月
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	3.55	3.49	3.60
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	3.59	3.62	3.67
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	3.49	3.51	3.58
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	3.60	3.64	3.65
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	3.54	3.49	3.56
6	学校は、自主性、自立性（子供の学ぶ意欲、やり抜く力等）を高めようとしている。	3.62	3.62	3.67
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	3.37	3.37	3.39
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	3.29	3.33	3.41
9	学校は、道德教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	3.59	3.60	3.64
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	3.56	3.50	3.56
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	3.42	3.49	3.45
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	3.37	3.50	3.42
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	3.47	3.49	3.50
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	3.53	3.49	3.52
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	3.52	3.51	3.53

学校運営の取組については、どの項目も高い数値となっており、概ね良好であると考えます。ただ、項目7「家庭学習」、項目8「運動能力や体力向上」、項目12「いじめや不登校のない学校づくり」は、やや低い数値となっています。

家庭学習、運動能力や体力向上については、学習や運動に取り組む習慣を主体的に身に付けられるよう、個に応じた支援をしていきたいと考えています。また、いじめや不登校のない学校づくりについては、日頃から子供が話をしやすい雰囲気づくりに努め、困り感がある場合は一人一人の思いに寄り添いながら対応していきたいと考えています。

子供の様子について（保護者・児童アンケートより）

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

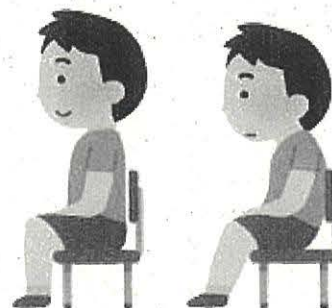
保護者アンケート					児童アンケート				
項目	質問事項	R6 7月	R6 1月	R5 7月	項目	質問事項	R6 7月	R6 1月	R5 7月
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと言っている。	3.60	3.62	3.67	1	学校は楽しい。	3.69	3.67	3.74
2	子供は、授業を楽しみにしている。	3.43	3.43	3.50	2	授業は楽しい。	3.60	3.54	3.64
3	子供は、進んであいさつをしている。	3.23	3.31	3.29	3	進んであいさつをしている。	3.63	3.50	3.57
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。	3.21	3.24	3.24	4	思いやりのある言葉を使っている。	3.48	3.43	3.48
5	子供は、登下校中（歩くことやバス、電車等で）、安全の決まりやルールを守っている。	3.36	3.40	3.41	5	登下校中（歩くことやバス、電車で）、安全のルールやマナーを守っている。	3.73	3.68	3.73
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	3.39	3.41	3.43	6	学校であったことを、家で話したり相談したりしている。	3.46	3.52	3.58
7	子供は、進んで運動しようとしている。	3.38	3.25	3.38	7	進んで運動している。	3.56	3.43	3.50
8	子供は、姿勢に気を付けている。	2.68	2.70	2.74	8	授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	3.25	3.29	3.35

子供たちの様子についてのアンケート結果です。

保護者アンケートでも児童アンケートでも、項目8「姿勢」が最も低い数値になっています。昨年度の学校だより2月号でもお伝えしましたが、学校では、正しい位置に椅子を置く、背中を伸ばして座る、足を組んだり、肘をついたりしないなどの声かけをしています。声をかけた直後は、正しい姿勢で座ることができるのですが、しばらくすると元の姿勢に戻ってしまう子供たちが多く、なかなか改善しないのが現状です。また、姿勢が崩れやすい子供ほど、授業に集中しにくい傾向が見られます。ただ、同じ姿勢を45分間保つことは大人でも難しいことです。子供たちの集中力を高めるためにも、授業の中で一斉学習、グループ学習、個別学習等、様々な学習形態を取り入れるなど、適宜、丸まった背中を伸ばせるような場を設けていきたいと考えています。

児童アンケートでは、項目1「学校は楽しい」、項目2「授業は楽しい」、項目3「あいさつ」、項目5「登下校中のルールやマナー」、項目7「運動」で、高い数値となっています。今後も、子供たちが楽しいと思える学校づくり、安心して通える学校づくりを目指して支援していきます。

（副校長 村井悠子）



令和6年12月2日

保護者 各位

富山大学教育学部附属小学校
校長 原 野 克 憲

「学校運営に関するアンケート」の実施について（お願い）

寒冷の候 保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、7月に行いました「学校運営に関するアンケート」と同様に、8月から11月までの学校の取組やお子様の様子について、保護者の皆様からご意見をいただき、今後の学校運営の参考にしたいと思っております。なお、アンケートは、Google Classroomに配信したフォームにてご回答ください。ご多用のこととは存じますが、下記のとおりご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1 アンケート回答の手順

- ① Google Classroomに保護者アカウントでログインしてください。

※兄弟姉妹がおられる場合は、複数の保護者アカウントをもっておられます。お手数ですが、お子さんごとに、それぞれの保護者アカウントでログインし、回答をお願いします。

- ② 「全校の保護者の方への連絡」→「12月のおたより」→「学校運営に関するアンケート」にあるフォームにてアンケートにお答えください。最後に「送信」ボタンを押してください。
- ③ 本アンケートは、保護者アカウントと選択された学級及び名前でご回答済みかどうかを確認しています。学級及び名前の選択間違いがないようお願いいたします。
- ④ 送信後に回答内容を変更されたい場合、締切日までは再度回答することができます。
- ⑤ パソコンやスマートフォンで回答される際、アカウントが勝手に切り替わり、回答できないことがあるようです。その場合は、Chromebookでの回答をおすすめします。
- ⑥ 自由記述には、よりより学校をつくり上げていく上で、建設的なご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。

※書いていただいたご意見やご要望については、職員会議で検討した学校の考えを併せて、学校だよりで公開する予定ですが、以下の内容に関しては削除、部分的に変更します。

- ・個人（児童、保護者、教員、学級）が特定される内容
- ・個人的なことについて書かれたと思われる内容
- ・他校への配慮を要する内容

2 回答の締め切り日

令和6年12月9日（月）

令和6年度(12月)学校運営に関するアンケート回答用紙(保護者用) ※フォームにて回答

お子様の学年・組・名前 (年 組 名前)

1 学校運営全体の取組について

次の質問事項はあてはまりますか。(4～1に○を付けてください)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

番号	質 問 事 項	回 答
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	4 3 2 1
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	4 3 2 1
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	4 3 2 1
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	4 3 2 1
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	4 3 2 1
6	学校は、自主性、自立性(子供の学ぶ意欲、やり抜く力等)を高めようとしている。	4 3 2 1
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	4 3 2 1
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	4 3 2 1
9	学校は、道徳教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	4 3 2 1
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	4 3 2 1
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	4 3 2 1
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	4 3 2 1
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	4 3 2 1
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	4 3 2 1
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	4 3 2 1

2 保護者から見てのお子様の様子を選んでください。(4～1に○を付けて下さい)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

番号	質 問 事 項	回 答
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
2	子供は、授業を楽しみにしている。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
3	子供は、進んであいさつをしている。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
5	子供は、登下校中(歩くことやバス、電車等で)、安全の決まりやルールを守っている。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。(あったか教育との関連)	4 3 2 1
7	子供は、進んで運動しようとしている。	4 3 2 1
8	子供は、姿勢に気を付けている。	4 3 2 1

3 自由記述

よりよい学校を目指して、建設的なご意見やご要望等がありましたらご記入ください。

令和6年度(12月) アンケート回答用紙(児童用) ※フォームにて回答

(年 組 名前)

1 あてはまるものをえらんでください。(1～4に○を付けてください)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

番号	質 問 事 項	4	3	2	1
1	がっこう 学校の ^{たの} 楽しい。				
2	じゅぎょう 授業は ^{たの} 楽しい。				
3	すす 進んであいさつをしている。				
4	おも 思いやりのある ^{ことば} 言葉を ^{つか} 使っている。				
5	とうげこうちゅう ^{ある} 登下校中 (歩くことやバス、 ^{でんしゃ} 電車で)、 ^{あんぜん} 安全のルールやマナーを ^{まも} 守っている。				
6	がっこう 学校であったことを、家で ^{いえ} 話したり ^{はな} 相談したりしている。				
7	すす 進んで ^{うんどう} 運動している。				
8	じゅぎょう 授業 や ^{きゅうしょく} 給食 のときの ^{しせい} 姿勢に ^き 気をつけている。				

令和6年度12月実施 教員アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上) 3.2以上3.6未満(80%以上90%未満) 2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)
2.4以上2.8未満(60%以上70%未満) 2.4未満(60%未満)

平 均				各評価の割合(%)			
R5.12	R6.7	R6.12		4	3	2	1
1. 学校教育目標							
1 本校の教育課題等について、教職員でよく話し合っている。	3.4	3.3	3.3	27.8	72.2	0.0	0.0
2 教育活動全般にわたって評価を行い、次の計画に生かしている。	3.2	3.1	2.9	16.7	61.1	22.2	0.0
2. 運営・組織							
1 校長は、自らの教育理念や学校運営についての考えをもって、リーダーシップを発揮している。	3.5	3.3	3.2	44.4	38.9	11.1	5.6
2 教職員一人一人の能力や適正を配慮した分掌がなされている。	3.2	3.1	2.8	22.2	44.4	27.8	5.6
3 各分掌相互の連絡・調整が円滑に行われ、有機的に機能している。	3.0	3.1	2.9	11.1	66.7	22.2	0.0
4 教職員の意見が反映され、意欲的に取り組める環境となっている。	2.9	3.1	2.7	5.6	61.1	27.8	5.6
5 日々の教育活動における問題意識や悩みについて気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。	3.4	3.2	3.1	27.8	55.6	16.7	0.0
6 事故、事件が発生した場合、組織的に連携し、適切に対応している。	3.7	3.4	3.3	33.3	61.1	5.6	0.0
7 不審者対応、危機管理等に対する未然の対策を適切に考えている。	3.2	3.2	3.1	22.2	66.7	5.6	5.6
8 要修繕箇所発見時、報告・連絡により迅速な修繕や原因確認・再発予防に備えている。	3.1	2.8	2.7	11.1	50.0	33.3	5.6
9 教職員一人一人が服務に対する厳しい自覚を持ち続けている。	3.2	3.1	3.1	22.2	66.7	11.1	0.0
10 職員会議の運営方針が明確であり、効率よく行われている。	3.4	3.4	3.1	22.2	66.7	5.6	5.6
11 学級経営のスキル等を継承している。	2.7	2.8	2.8	0.0	61.1	33.3	5.6
3. 施設・設備							
1 教材・教具の整備と管理に努めている。教室や特別教室の環境整備を計画的に行っている。	3.2	3.1	2.9	5.6	83.3	11.1	0.0
2 教職員が役割分担をし、施設・設備の効率的な活用と管理、安全点検をしている。	3.5	3.2	3.1	16.7	72.2	11.1	0.0
3 教科等で必要な教材・教具、最新の機器等が充実している。	3.2	3.0	2.7	11.1	50.0	38.9	0.0
4. 開かれた学校・附属の役割							
1 保護者への情報発信を十分行っている。	3.7	3.6	3.4	50.0	38.9	11.1	0.0
2 保護者の意見を十分聞いている。また、願いに応じている。	3.7	3.6	3.4	44.4	50.0	5.6	0.0
3 地域（富山県内）の教育力を活用している。	2.4	2.3	3.1	27.8	55.6	11.1	5.6
4 異校種間の連携を十分に図っている。	3.2	2.9	2.9	22.2	55.6	11.1	11.1
5 大学との連携を十分に図っている。	3.5	3.2	3.4	44.4	50.0	5.6	0.0
6 教育実習生、学生への指導を行い、優秀な教員（人間）の育成に努めている。	3.5	3.5	3.6	55.6	44.4	0.0	0.0
5. 生徒指導							
1 家庭や地域（富山県内）、関係機関との連携を図るために情報交換をしている。	3.6	3.3	3.3	38.9	50.0	11.1	0.0
2 あったかハート教育や教育相談システムを機能させ、児童の心の問題に対処している。	3.4	3.1	3.2	38.9	50.0	5.6	5.6
3 少年団活動について理解・協力し、適切に指導ができています。	2.8	2.8	2.7	11.1	66.7	5.6	16.7
4 バスマナー等、公共ルールに対する指導ができています。	2.9	3.1	3.0	27.8	44.4	27.8	0.0
5 挨拶等、基本的生活習慣に対する指導ができています。	2.9	3.1	3.0	16.7	66.7	16.7	0.0
6. 情報							
1 個人情報及び電子データの管理を適正に行い、保護の徹底を図っている。	3.7	3.3	3.6	55.6	44.4	0.0	0.0

2	文書（紙媒体や電子媒体）、諸帳簿の処理や保管・管理（期間・場所）について、適正に実施している。	3.6	3.5	3.7	66.7	33.3	0.0	0.0
---	---	-----	-----	-----	------	------	-----	-----

7. 研修

1	これまでの研修・研究の成果を生かし、校内研修を計画的に推進し、実践の場で生かしている。	3.5	3.4	3.5	50.0	50.0	0.0	0.0
2	外部団体（小教研、教育会他）の研修に参加し、研修の機会を増やすようにしている。	3.7	3.6	3.7	66.7	33.3	0.0	0.0
3	学習指導要領の趣旨を理解し、研修を進めようとしている。	3.8	3.7	3.7	72.2	27.8	0.0	0.0

8. 教科指導

1	教科ごとに、基礎・基本の定着を図るため、指導計画と指導方法の工夫に努めている。	3.7	3.7	3.6	61.1	38.9	0.0	0.0
2	一人一人の個性やよさを生かす指導や評価を工夫している。	3.5	3.4	3.4	38.9	61.1	0.0	0.0
3	発展的な学習や補充的な学習が促進される学習指導の工夫がなされている。	3.6	3.5	3.4	50.0	44.4	5.6	0.0
4	問題解決的な学習や体験的な活動を取り入れ、児童に対応した確かな学力の育成に努めている。	3.6	3.5	3.6	55.6	44.4	0.0	0.0
5	児童に対して適切な家庭学習が与えられている。	3.4	3.4	3.3	33.3	61.1	5.6	0.0
6	学習が遅れがちな児童への対策を全校的な課題として取り組んでいる。	2.8	2.7	2.7	16.7	44.4	27.8	11.1
7	児童の発達段階を踏まえ総合的な学習の時間の指導計画を立案し主体的な活動を支援する工夫がなされている。	3.3	3.1	3.2	27.8	61.1	11.1	0.0
8	様々な体験を生かすとともに、資料や発問を工夫し、内面的な自覚を深める道徳の授業の指導に努めている。	3.4	3.4	3.3	27.8	72.2	0.0	0.0
9	学校行事について、児童にとって魅力あるものとするために工夫・改善を行っている。	3.3	3.2	3.2	33.3	55.6	5.6	5.6
10	児童会活動を自主的にできるように、学校全体で支援を行っている。	3.1	2.9	2.9	16.7	61.1	16.7	5.6
11	専科指導体制は有効である。	3.3	3.4	3.6	61.1	38.9	0.0	0.0

9. 重点課題等

1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている。（あったか教育との関連）	3.3	3.1	3.3	27.8	72.2	0.0	0.0
2	子供は、授業を楽しみにしている。（あったか教育との関連）	3.3	3.3	3.3	33.3	61.1	5.6	0.0
3	子供は、進んで挨拶をしている。（あったか教育との関連）	2.9	3.0	3.1	22.2	61.1	16.7	0.0
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。（あったか教育との関連）	2.9	2.9	2.9	11.1	77.8	5.6	5.6
5	子供は、登下校中（歩くことやバス、電車等で）、安全の決まりやルールを守っている。（あったか教育との関連）	2.5	2.6	2.6	5.6	55.6	33.3	5.6
6	子供は、学校であったことを家庭で話したり相談したりしている。（あったか教育との関連）	3.2	3.0	3.1	16.7	77.8	5.6	0.0
7	子供は、進んで運動している。	3.0	2.9	3.0	16.7	66.7	16.7	0.0
8	子供は、授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	2.6	2.7	2.7	11.1	50.0	38.9	0.0

令和6年度12月実施 保護者アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上) 3.2以上3.6未満(80%以上90%未満) 2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)

2.4以上2.8未満(60%以上70%未満) 2.4未満(60%未満)

1. 学校運営全体の取組について

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	3.7	3.5	3.5	3.3	3.5	3.6	3.4	3.4	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	3.8	3.5	3.7	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	3.7	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	3.8	3.6	3.8	3.4	3.6	3.6	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	3.6	3.5	3.7	3.2	3.6	3.6	3.2	3.3	3.6	3.5	3.4	3.6	3.5
6	学校は、自主性、自立性(子供の学ぶ意欲、やり抜く力等)を高めようとしている。	3.8	3.8	3.7	3.5	3.7	3.6	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	3.6	3.4	3.3	3.1	3.4	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.2	3.5	3.3
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	3.4	3.2	3.3	3.1	3.4	3.4	3.1	3.3	3.5	3.5	3.2	3.6	3.3
9	学校は、道徳教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	3.8	3.6	3.6	3.6	3.7	3.8	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4	3.6	3.6	3.5
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	3.7	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	3.5	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	3.5	3.5	3.4	3.2	3.4	3.4	3.2	3.3	3.6	3.4	3.4	3.5	3.4
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	3.6	3.7	3.5	3.3	3.5	3.4	3.5	3.2	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	3.7	3.6	3.4	3.3	3.6	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	3.7	3.5	3.6	3.2	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5

2. 目指す子供像、重点課題等への取組について

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと感じている。	3.7	3.6	3.8	3.7	3.4	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6
2	子供は、授業を楽しみにしている。	3.8	3.3	3.7	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.3	3.4	3.5	3.4
3	子供は、進んであいさつをしている。	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.3
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。	3.1	3.3	3.3	3.3	3.1	3.3	3.2	3.1	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3
5	子供は、登下校中(歩くことやバス、電車等で)、安全の決まりやルールを守っている。	3.2	3.4	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	3.6	3.5	3.3	3.3	3.4	3.5	3.3	3.3	3.4	3.2	3.2	3.5	3.4
7	子供は、進んで運動しようとしている。	3.6	3.3	3.5	3.3	3.1	3.2	3.3	3.3	3.2	3.0	3.3	3.2	3.3
8	子供は、姿勢に気を付けている。	2.6	2.8	2.9	2.7	2.7	2.9	2.8	2.5	2.4	2.4	2.7	2.5	2.7

令和6年度12月実施 児童アンケート結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

3.6以上(90%以上) 3.2以上3.6未満(80%以上90%未満) 2.8以上3.2未満(70%以上80%未満)

2.4以上2.8未満(60%以上70%未満) 2.4未満(60%未満)

	質 問 事 項	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	平均
1	学校は楽しい。	3.5	3.5	3.8	3.6	3.5	3.7	3.5	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6
2	授業は楽しい。	3.6	3.6	3.9	3.6	3.4	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.3	3.8	3.6
3	進んであいさつをしている。	3.5	3.5	3.9	3.4	3.4	3.6	3.4	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5
4	思いやりのある言葉を使っている。	3.4	3.5	3.7	3.6	3.2	3.4	3.5	3.2	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4
5	登下校中(歩くことやバス、電車で)、安全のルールやマナーを守っている。	3.5	3.5	3.6	3.7	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.8	3.6
6	学校であったことを、家で話したり相談したりしている。	3.2	3.4	3.6	3.4	3.2	3.4	3.6	3.3	3.2	3.0	3.1	3.7	3.3
7	進んで運動している。	3.6	3.4	3.9	3.6	3.4	3.4	3.6	3.5	3.2	3.0	3.4	3.3	3.5
8	授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	3.2	3.2	3.7	3.4	3.0	3.1	3.1	3.0	3.3	2.8	3.0	3.4	3.2



学校運営に関するアンケート

7月に続き、学校運営に関するアンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。今後も、「自ら考え、判断し、行動できる子供」の育成を目指し、いただいたご意見をもとに改善できることは改善しながら学校運営に努めていきます。

学校運営全体の取組について（保護者アンケートより）

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

項目	質 問 事 項	R6 12月	R6 7月	R6 1月
1	学校は、学校運営の方針を分かりやすく伝えている。	3.50	3.55	3.49
2	学校は、子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。	3.60	3.59	3.62
3	学校は、保護者の思いや意見を聞く努力をしている。	3.44	3.49	3.51
4	学校は、分かりやすく楽しい授業を通して基礎・基本の定着を図り、学力を高めるようにしている。	3.58	3.60	3.64
5	学校は、教育機器や図書館等を活用した授業、体験的な学習を行っている。	3.48	3.54	3.49
6	学校は、自主性、自立性（子供の学ぶ意欲、やり抜く力等）を高めようとしている。	3.62	3.62	3.62
7	学校は、家庭学習を行うために適切な手立てを行っている。	3.32	3.37	3.37
8	学校は、運動能力や体力を向上させようとしている。	3.32	3.29	3.33
9	学校は、道徳教育を大切にし、思いやりのある心を育んでいる。	3.60	3.59	3.60
10	学校は、社会のマナーやルールを教えている。	3.53	3.56	3.50
11	学校は、子供の心身についての相談に適切に応じている。	3.44	3.42	3.49
12	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	3.40	3.37	3.50
13	学校は、望ましい生活習慣について指導をしている。	3.46	3.47	3.49
14	学校は、子供の安全を守るための取組を行っている。	3.50	3.53	3.49
15	学校は、学習しやすい環境、子供の活動が分かる環境整備に努めている。	3.49	3.52	3.51

学校運営の取組については、どの項目も高い数値となっており、概ね良好であると考えます。ただ、項目7「家庭学習」、項目8「運動能力や体力向上」は、やや低い数値となっています。

自ら家庭学習や運動に取り組む習慣を付けるためには、学校と家庭が連携しながら一人一人に合った支援をしていくことが大切だと考えています。今後も、学校でのお子さんの取組の様子について積極的にお伝えできるよう努めていきます。また、ご家庭での様子についても教えていただけるとありがたいです。気になることや心配なことがある場合は、お気軽に学校にご相談ください。

子供の様子について（保護者・児童アンケートより）

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

保 護 者 ア ン ケ ー ト					児 童 ア ン ケ ー ト				
項 目	質 問 事 項	R6 12月	R6 7月	R6 1月	項 目	質 問 事 項	R6 12月	R6 7月	R6 1月
1	子供は、学校へ行くのが楽しいと言っている。	3.60	3.60	3.62	1	学校は楽しい。	3.61	3.69	3.67
2	子供は、授業を楽しみにしている。	3.42	3.43	3.43	2	授業は楽しい。	3.55	3.60	3.54
3	子供は、進んであいさつをしている。	3.28	3.23	3.31	3	進んであいさつをしている。	3.54	3.63	3.50
4	子供は、相手や場に応じた言葉遣いをしている。	3.28	3.21	3.24	4	思いやりのある言葉を使っている。	3.42	3.48	3.43
5	子供は、登下校中（歩くことやバス、電車等で）、安全の決まりやルールを守っている。	3.41	3.36	3.40	5	登下校中（歩くことやバス、電車で）、安全のルールやマナーを守っている。	3.57	3.73	3.68
6	子供は、学校であったことを話したり相談したりする。	3.37	3.39	3.41	6	学校であったことを、家で話したり相談したりしている。	3.33	3.46	3.52
7	子供は、進んで運動しようとしている。	3.28	3.38	3.25	7	進んで運動している。	3.45	3.56	3.43
8	子供は、姿勢に気を付けている。	2.66	2.68	2.70	8	授業や給食のときの姿勢に気を付けている。	3.18	3.25	3.29

子供たちの様子についてのアンケート結果です。

保護者アンケートでは、引き続き、項目8「姿勢」の数値が低くなっています。学校では、正しい位置に椅子を置く、背中を伸ばして座る、足を組んだり、肘をついたりしないなどの声かけを継続していきます。ご家庭でも、正しい姿勢を意識する習慣を身に付けられるよう働きかけていただけるとありがたいです。

児童アンケートでは、項目1「学校は楽しい」、項目2「授業は楽しい」、項目3「あいさつ」、項目4「登下校中のルールやマナー」で、高い数値となっています。子供たちが楽しく学校に通うことができているのは、日々、保護者の皆様が、子供たちの頑張りを認め、励ましてくださっているからです。

ただ、登下校のルールやマナーについては、まだまだ課題も見られます。実際、登下校中の行動についてご指摘を受けたり、子供同士のトラブルが発生したりすることがあります。学校では、子供たちの前向きな気持ちを認めながらも、周囲の方がどのような思いをされているかを伝え、どのように行動すべきだったかを考える場を設けることで、公共のルールやマナーを身に付けられるよう支援していきます。ふたば会主催の「下校時のバス乗車マナー指導」「見守りボランティア活動」等にご協力くださっている保護者の皆様、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。（副校長 村井悠子）

V 第1回学校評議員会より

令和6年度 第1回 学校評議員会

1 日 時 令和6年9月17日(火) 13時30分～15時
(学校参観 13時35分～13時55分)

2 会 場 富山大学教育学部附属小学校 会議室

3 内 容

(1) 学校長あいさつ

(2) 評議員・学校職員の紹介

【評議員】※敬称略

山尾 佳充	富山県教育委員会 小中学校課 課長
田辺 嶽之	富山港北洋材荷受協同組合 理事長
坂本美奈子	道文心理研究所 所長
山崎 均	山崎機工(株) 代表取締役社長 元 PTA 会長
牧田 和樹	(株) 牧田組代表取締役社長 元 PTA 会長
荒治 和幸	元富山県小学校長

【学校職員】

原野 克憲	校長
村井 悠子	副校長
土合 真祐	主幹教諭・校内教頭

(3) 教職員・児童について

① 人事異動

【転出】

渡辺千愛実	教諭	高岡市立伏木小学校へ(外国語科)
小船井瑞穂	教諭	小矢部市立東部小学校へ(家庭科)
城野実井子	講師	退職
西村 顕志	講師	退職
尾松 拓哉	講師	富山市立山室中学校へ(新規採用)

【転入】

桑山 賢司	教諭	高岡市立川原小学校より(外国語科)
川崎 祥樹	教諭	富山市立神保小学校より(臨時的任用講師)
広井 優子	講師	
平井久美子	講師	
津田 知也	講師	(富山大学大学院教職実践開発研究科2年)
伴 隆徳	講師	(富山大学大学院人間発達科学部卒業)

② 教職員について

校長 1、副校長 1、主幹教諭（校内教頭） 1、教諭 13、養護教諭 1、臨時的任用講師 2、非常勤講師 5、図書館司書 1、PTA 事務職員 1、栄養教諭（特支兼務） 1、スクールカウンセラー（学園兼務） 1、ICT 支援員（学園兼務） 1、ALT（中学校兼務） 1

- ・教諭 13 名、養護教諭 1 名、臨時的任用講師 2 名のうち、約半数が富山市以外（黒部市、上市町、立山町、高岡市、砺波市、小矢部市）から通勤している。
- ・ほとんどが 30 代と 40 代である。
- ・7 年ルールが適用されており、人事・研究の継承に課題が見られる。
- ・県小教研の専門委員や学力調査委員、教育会の作問委員や副読本作成委員等を担うなど、県内の教育を牽引していく立場にある。

③ 児童について

児童数 418 名 ※平成 29 年度から定員は全学級 35 名

- ・長期欠席児童は、6 年生 1 名、4 年生 1 名、3 年生 1 名、1 年生 1 名である。6 年生 1 名は、自宅から出ることができない状態である。4 年生 1 名は、ほぼ毎日、フリースクールに通っている。（出席扱い）3 年生 1 名は、1 週間に 1 回程度、放課後に来校している。1 年生 1 名は、保護者の仕事の都合で 12 月末まで（予定）、オーストラリアに滞在している。
- ・相談室登校児童は、6 年生 1 名である。ほぼ毎日登校し、理科、家庭科、体育科等、好きな教科の授業には参加している。

(4) 今年度の学校運営について

① 温かい学校づくり

- ・「あったかハート附属っ子」として、全校一斉あったかハート推進週間、温かな心を育む環境づくり、自己存在感・自己有用感を高める教育活動、子供の心に寄り添う対応に取り組んでいる。（別紙参照）
- ・生徒指導主事（専任）を窓口とする学校安全管理室（校長・副校長・校内教頭・養護教諭）を設置し、様々な生徒指導及び教育相談案件に関する情報整理と記録、いじめ緊急性の仮判断を行っている。いじめの早期発見及び組織的対応に努めている。
- ・毎週、全教員による気になる児童の情報交換を行い、生徒指導及び教育相談案件に関する情報の共通理解を図っている。また、いじめが疑われる案件については、いじめ対策実行会議（校長・副校長・校内教頭・生徒指導主事・養護教諭・当該学年主任・当該学級担任・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー）にかけ、いじめであるか否かの判断を組織的に行っている。
- ・年 5 回、学部長を責任者とし、外専門家（医師・臨床心理士・学校心理士等）と校内教員（校長・副校長・校内教頭・生徒指導主事・養護教諭・特別支援教育コーディネーター）で構成された、いじめ防止・対策委員会を開催し、いじめ防止対策基本方針や取組のチェック、いじめ解消の組織的判断等を行っている。
- ・全教職員を対象とした、いじめについての研修会を行い、いじめ問題への理解を深め、対応スキルの向上に努めている。保護者を対象とした講演会や児童による集会も行っている。

② 研究

- ・研究主題「学び続ける子供が育つ授業の創造～対話に着目して～」を掲げ、4 年間の計画（今年度は 4 年目）で研究を進めている。

- ・子供の学習意欲が高まる授業、力の付く授業を目指している。
- ・大学との共同研究を推進し、教科教育に対する専門的な助言をもらっている。
- ・研究発表会や公開授業研修会を通して、研究の成果を県内外に発信する。これまで6月に開催してきた研究発表会は、今年度より11月に開催する。

③ 働き方改革

- ・大学との労使協定により、手当が付く超過勤務の上限は月 45 時間、年間 360 時間以内と定められている。就業管理システム上、上限を超えた超過勤務申請をしている教員はいないが、超過勤務申請をせずに時間外勤務や自主研修を行っている様子も見られる。
- ・昨年度までは、6月の教育研究発表会前や9月の教育実習中の労働時間を長くし、夏季休業中等の労働時間を短くする変形労働時間制を導入していた。昨年度、働き方を見直すにあたり、勤務時間についての確認を行った結果、多くの教員から、変形労働時間制よりも固定労働時間制の方がよいという意見があったため、今年度より変形労働時間制をやめ、年間を通して8時15分出勤、17時退勤となった。教育実習中も17時までの勤務となったため、限られた時間の中で実習生の指導ができるように努めている。
- ・昨年度は、気になる児童の情報交換のオンライン化、高学年テキスト学習の削減、小教研及び教育会等の仕事の見直しを行い、業務の削減を図った。今年度は、9月に実施していた陸上記録会を中止し、10月以降に体育科の授業として学年ごとに実施することになっている。また、冬の体験学習は中止とした。

(5) 学校評価の結果について（別紙参照）

- ① 児童・保護者アンケートの結果から
- ② 教員アンケートの結果から

(6) 学校評議員の意見及び指導

「あったかハート附属っ子」の取組

1 全校一斉あったかハート推進週間

温かな心の育成に向けた取組の一つとして、月に1回、道徳科・学級活動を中心とした授業を実施し、内容を発信する。

週 間	内 容	
4/15～ 4/19	学級活動①	「みんなあったかハートの学級」になるための話合い
5/ 7～ 5/10	学級活動②	安全なインターネットの使い方（情報モラル教育）
6/ 3～ 6/ 7	道徳科①	内容項目：親切, 思いやり
7/ 1～ 7/ 5	学級活動③	人権尊重をテーマにした学級集会
9/ 2～ 9/ 6	道徳科②	内容項目：友情, 信頼（低学年）、相互理解, 寛容（中・高学年）
10/ 7～10/11	学級活動④	ネット上のいじめの具体例から学ぶ（情報モラル教育）
11/22～11/29	学級活動⑤	「みんなあったかハートの学級」になるための話合い
12/ 2～12/ 5	道徳科③	内容項目：公正, 公平, 社会正義
1/14～1/17	児童会活動①	低学年・中学年・高学年フロア集会
2/ 3～2/ 7	道徳科④	内容項目：生命の尊さ
3/ 3～3/ 7	学級活動⑥	1年間のあったかハートの振り返り

2 温かな心を育む環境づくり

- ・下級生と上級生が、互いに温かなメッセージの花を咲かせる「あったかハートの木」の掲示
- ・日々の授業や学校行事であふれる笑顔の写真紹介「あったかハートTV」の実施
- ・落ち着いて過ごすために取り組む「身の回りの整頓タイム」の実施
- ・音楽科で学習した曲や習い事で取り組んでいる曲を発表する「ちござくらコンサート」の開催

3 自己存在感、自己有用感を高める教育活動

- ・一人一人の考え方が尊重され、仲間と一緒に考えを練り上げながら問題を解決することのよさを味わう「対話的な学び」を生かした授業
- ・学級、学校、学園の仲間と一つのことを成し遂げるよさを味わう異学年及び異校種交流
 - *縦割り班で行う「縦割り班清掃」や「なかま活動」 *1年生と6年生の交流活動
 - *1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生で行う「フロア集会」
 - *1年生と幼稚園年長児との交流活動 *5年生と幼稚園年長児との交流活動
 - *4年生と特別支援学校児童生徒との交流活動 *6年生と中学生との交流活動
- ・人権を意識した児童会活動

4 子供の心に寄り添う対応

- ・定期的なアンケートと教育相談の実施
- ・一人一人の思いを受け止め、温かな心を育てる相談体制の充実

あったかハート推進週間の取組（４月）

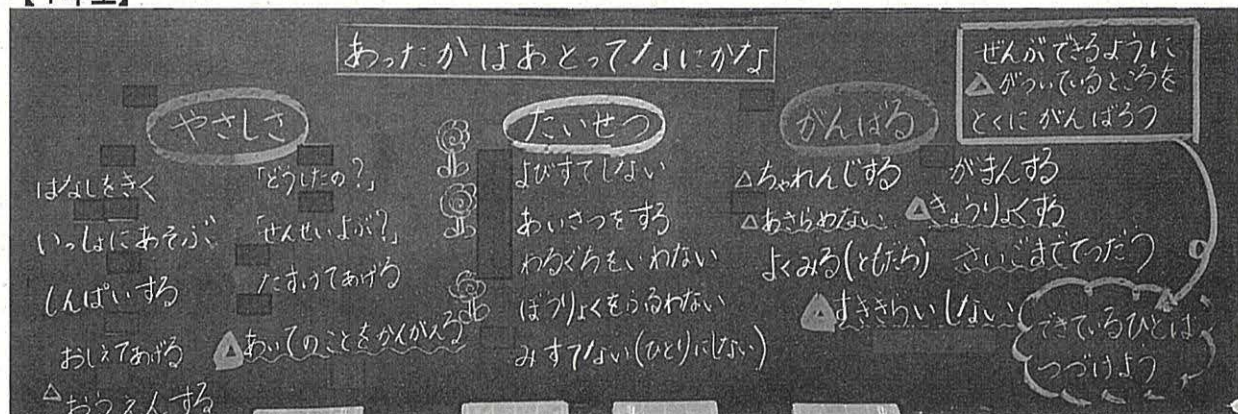
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。その一つとして、月に1回「あったかハート推進週間」を設置し、相手を思いやる心や寛容な心を育てようと、全校一斉の道徳科授業や人権を意識した児童会活動等を展開します。

4月には、以下の内容で学級会を行いました。

月	期 間	内 容
4月	4/15(月)～19(金)	学級活動①「みんなあったかハートの学級」になるための話し合い

1 実際の授業

【1年生】



1年生では、「あったかハートって何かな」をテーマに学級で話し合いました。子供たちは、あったかハートについて、「友達を気遣う優しさ」「安全に過ごすためのルールを守る心」「がんばりぬく心」などではないかと考えました。

【6年生】

6年生では、学級代表が話し合いを進めました。あったかハートな学級をつくっていくためには、どのようなことが必要か、昨年度の自分たちを振り返り、学級として目指す方向性を探っていました。「授業態度」「休み時間の過ごし方」について課題を感じた子供たちは、1か月ごとの短期目標を決め、振り返りを積み重ねていくことで、態度や過ごし方について改善していくことを共通理解しました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・ あったかハートになるために、友達を大事にしたいです。(1年生)
- ・ 自分がよいと思う行動をすればよいと思いました。行動してみたら、そのよさが分かるからです。(2年生)
- ・ みんなの考えを聞いて、困っている人に優しく声をかけたいと思いました。困っていた人が気持ちよく過ごせるからです。(3年生)
- ・ 学級目標の「カラフル」という言葉の意味は、みんなの個性を大事にしようという意味です。これをふまえて、みんなの気持ちを考え、あったかハートを大事にしていこうと思いました。(4年生)
- ・ 学級目標の「心をついに」を大切にしていきたいです。5年生はもともと男女の仲がよいので、それを続けていきたいです。(5年生)
- ・ 優しい言葉をかけ合いたいです。また、相手意識をもって話を最後まで聞いたり、きちんと反応したりしていきたいです。(6年生)

今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。



あったかハート推進週間の取組（5月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

5月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
5月	5/7（火）～10（金）	学級活動② 安全なインターネットの使い方

1 実際の授業

【4年生】

4年生では「オンラインゲームを安全に使うには」というテーマで話し合いました。「ゲーム依存」になってしまう原因や、ゲームとどのように関わっていけばよいのかについて考えました。

- ・しっかりルールを守れているか分からないから、お母さんに確認してもらいます。お母さんの力を借りながらも、少しずつ自分でできるようになりたいです。
- ・終わる時間を決めていても、ゲーム時間を延ばしてしまうことがあるので、時間になったら家族に預けたいと思いました。
- ・ゲーム依存症になると、恐ろしいことになるかと分かりました。これからゲームをするときは、親に付き添ってもらったり、ペアレンタルコントロールを設定してもらったりして、ルールを守って楽しくゲームをしたいです。
- ・メリハリをつけたいです。「これをクリアしたら終わる」と言いながら、やり続けていることがあります。ここを何とか直したいです。

2 各学年で行った授業の感想

- ・インターネットに夢中になって目が悪くなったり、勉強の時間がなくなったりすることにならないようにしたいです。（1年生）
- ・クロームブックは勉強のために使いたいです。他の人にパスワードを教えないなどのルールも守りたいです。（2年生）
- ・インターネット上では、自分のことも友達のこと教えないようにしたいです。（3年生）
- ・ルールを破ったら、自分もみんなも嫌な思いをするので、気を付けたいです。（4年生）
- ・SNSでは悪口を言わないなど、送信する前に言葉を確認したいです。（5年生）
- ・ネット上で友達がつくったものを、勝手に消さないようにしたいです。もしも間違えて消してしまったら、正直に謝りたいです。（6年生）

どの学年からも「インターネットを安全に使うことが大切である」と振り返る感想がありました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。



あったかハート推進週間の取組（6月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

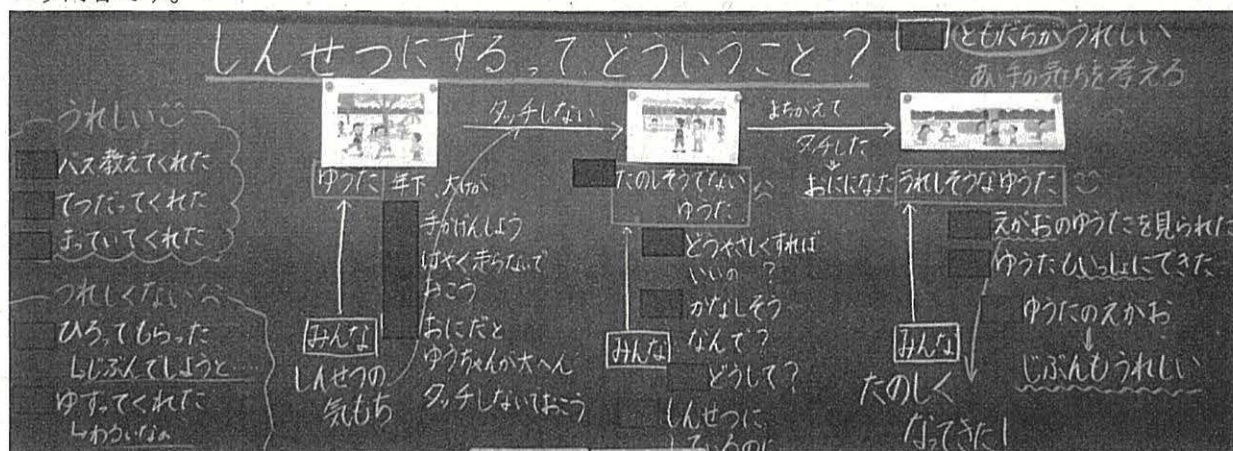
6月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
6月	6/3（月）～7（金）	道徳科の授業① 内容項目：親切、思いやり

1 実際の授業

【2年生】

2年生は「公園のおにごっこ」を読み、親切にするときにはどのようなことが大切かについて話し合いました。幼稚園に通う「ゆうた」は、一緒におにごっこをしている「しんじたち」が、自分のためにわざと遅く走ること悩んでしまいます。一方、「しんじたち」は、「ゆうた」のためを思っで行った親切が、「ゆうた」にとっては親切になっていなかったことに気づき、「ゆうた」との関わりを考え直すという内容です。



授業の振り返りでは、「親切にするということは、友達がうれしくなることだと思います」「親切にしていたつもりが、迷惑になってしまっていたことがよく分かりました」といった感想が出てきました。親切とはどういうものかについて、考えを深めていました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・「ないちゃった」を読んで、相手のことを考えることが大切だと思いました。これからも、あったかハートで友達と遊びます。（1年生）
- ・しんじたちのように、相手の気持ちを考えて親切にしたいです。そうしないと、本当の親切にならないからです。（2年生）
- ・「ぽかぽか言葉」を読んで、心を温めてくれる言葉をつかおうと思いました。心にぐさっと刺さるとげとげ言葉だと、いろいろな人が悲しくなるからです。（3年生）
- ・「温かい言葉」を読みました。親切にした相手に「やめろ」と言われたのに、怒るのを我慢して「がんばってね」と言ったお兄さんはすごいと思いました。（4年生）
- ・「くずれ落ちた段ボール」を読んで、人に親切にしたら、その分、必ずよいことがあるのだなと思いました。（5年生）
- ・「最後のおくり物」を読みました。親切にするためには、結果的に相手はどう思うかということが大切だと分かりました。（6年生）

どの学年からも、相手の気持ちを大切にしたい行動とは何かについて、話し合いを通して考えを深める様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。



あったかハート推進週間の取組（7月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

7月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
7月	7/1（月）～5（金）	学級活動③ 人権尊重をテーマにした学級集会

1 実際の授業

【1・2年生】

1年生は「第1回お楽しみ会」、2年生は「七夕集会」を行いました。

- ・「射的」と「ガチャガチャ」が楽しかったです。みんなで楽しむことができました。（1年生）
- ・集会では、みんなが喜んでくれていたので、いいなと思いました。工作係としてがんばったので、みんなに喜んでてもらえたのかなと思いました。（2年生）

【3・4年生】

3・4年生は、「中学年あったかハート集会」でドッジボール大会を行いました。4年1組が企画・運営し、3・4年生合同チームを作って対戦しました。

はじめの言葉では、「勝ち負けよりも、みんながボールを投げて楽しめるようにしよう」という目当てを確認しました。この目当てを意識しながら楽しむことで、みんなが温かな気持ちになる集会を行うことができました。



- ・この集会で「あったかハートだな」と思ったことは二つあります。一つ目は、友達がボールを「どうぞ」と渡してくれたことです。二つ目は、赤団と白団の人が応援してくれたことです。頑張らなきゃと思うことができました。（3年生）
- ・この集会を計画するときに、どうすれば3年生が楽しめるかを考えました。計画する中で、意見が分かれることもあったけれど、互いに譲り合ってよい案を出すことができました。（4年生）

【5・6年生】

5・6年生は、「あったかハート集会」を行いました。6年1組が主催し、「16マス鬼ごっこ」「宝探し」「謎解き」「だるまさんが〇〇した」のゲームを行いました。

縦割り班で取り組む中で、「もう少しで謎が解けるかも！」「かわいいポーズを取るにはどうすればいいの？」と積極的にコミュニケーションをとりながら活動する姿がみられました。



- ・縦割り班の仲間との仲が深まりました。「宝探し」では、みんなと協力して互いを気遣いながら楽しむことができました。各ゲームは4、5分の短いものだったけれど、十分に仲を深めることができました。（5年生）
- ・この集会で学んだことを普段の学校生活に生かしたいです。人が困っているときに「大丈夫？」と声をかけられるようにしていきたいです。自分がそうされると嬉しいと思うからです。反対に、自分がされて嫌なことは相手にしないようにしたいです。（6年生）

どの学年でも、「相手の気持ちを大切にしながら、互いが楽しむにはどうすればよいか」を考えて活動に取り組む様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。



あったかハート推進週間の取組（9月）

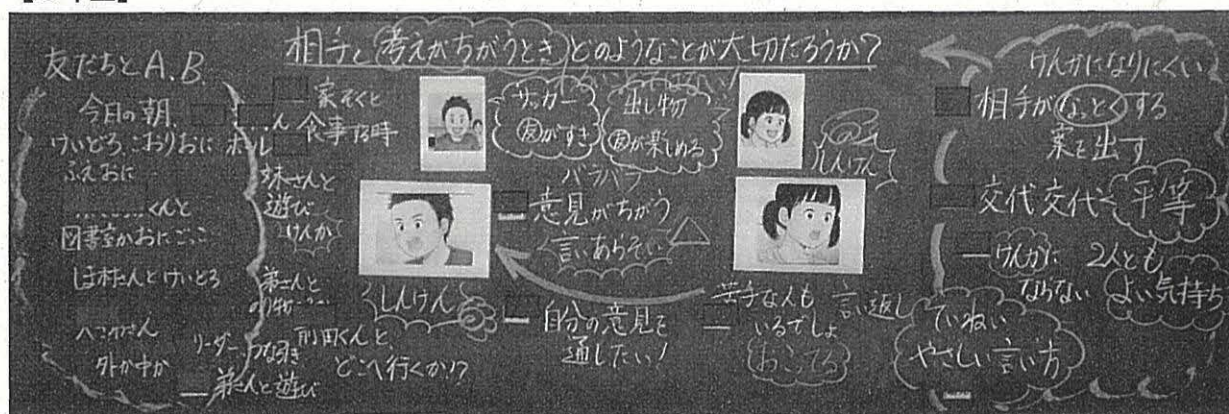
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

9月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
9月	9/2（月）～6（金）	道徳科の授業② 内容項目：友情, 信頼（低学年）、相互理解, 寛容（中・高学年）

1 実際の授業

【3年生】



3年生は「みんなの学級会」を読み、自分とは異なる考えをもつ相手を理解して行動するにはどうすればよいかを考えました。「みんなの学級会」では、転校する「ともき」のために、どのようなお別れ会にしたらよいかと話し合いが行われます。クラスの間にも「ともき」も楽しめる出し物についての提案がいくつか出されるのですが、意見が割れてしまうというお話です。

3年生では、以下のような考えが出ました。

- ・相手と意見が違うときには、全部ゆずってしまうと自分の考えがなくなってしまうから、自分の意見も大切にしながら、優しく「どうする？」と相手の考えを聞こうと思いました。
- ・友達と言い争いになったら、交代で意見を聞き合うなどして、みんなが気持ちよくけんかにならないようにしていきたいです。

2 各学年で行った授業の感想

- ・友達の気持ちを考え、約束を守る人になりたいと思いました。（1年生）
- ・自分も相手も「ごめんね」という気持ちにならないと仲直りはできないと思いました。（2年生）
- ・相手が失敗しても、相手を責めるのではなく、「自分もそんなことがあったかも」と振り返るチャンスにしたいと思いました。（4年生）
- ・相手の考えを知ろうとする心を大切にしながら、自分の考えも大切にしていけることが大事だと思いました。（5年生）
- ・さまざまな人が笑顔になるには、それぞれの条件や立場を理解して、その人に合った方法を考えることが大切だと思いました。（6年生）

どの学年からも、「相手の立場や気持ちを理解する大切さ」について考えを深める様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。

令和6年度 第1回 学校評議員会議事録

日 時 令和6年9月17(火) 13:30 ~ 15:00

場 所 附属小学校会議室

出席者

山尾 佳充 【富山県教育委員会 小中学校課 課長】
田邊 嶽之 【富山港北洋材荷受協同組合理事長】
牧田 和樹 【(株)牧田組代表取締役社長 元PTA会長】
山崎 均 【山崎機工(株)代表取締役社長 元PTA会長】
荒治 和幸 【元富山県小学校校長】
坂本美奈子 【道文心理研究所所長】
校長、副校長、主幹教諭

各評議員より

〈牧田評議員〉

- ・子供たちの学力差は広がってきているのか。発育検査とその後の学力との相関は出せないものか。基礎学力との関係も見えるのではないかと考える。
- ・附属小の特徴を出していかなければいけない。7年ルールも足かせになっていると感じる。3校園が隣接している現状を生かすべきである。小中の9年分の学習を8年間で行い、残りの1年を探究の時間にあてるなどしたらよい。
- ・働き方改革や17時退勤については、10人いれば能力もそれぞれ違う。そういったことも加味して働き方改革を行っていくべきである。「努力が報われるべき働き方改革」が必要と感じる。
- ・世の中に合わせて、公立の学校との差別化も考えていかななくてはいけないと考える。

〈校長〉

- ・小中連携のグラウンドデザインが、附属の中にもあればよい。幼小連携についても考えていきたい。

〈荒治評議員〉

- ・外部の人たちが、附属ならではの魅力を感じられるように、もっと附属小から外に向けて発信をすべきである。働き方改革、指導要領との兼ね合いも考えたらよい。
- ・11月の研究会も、周りの人々がワクワク・ドキドキする授業を展開してほしい。

〈副校長〉

- ・魅力ある学校づくりについては、7年ルールも関係しているかもしれない。

〈校長〉

- ・教員たちの「やる気」と「時間外勤務」とのバランスをとるのが難しい。

〈牧田評議員〉

- ・7年選手が附属の流れを会得できるのかは疑問である。これまでのような、先輩によるサポートもなくなってきているのかもしれない。

〈荒治評議員〉

- ・附属の魅力は「授業」である。ワクワク・ドキドキする授業を毎日展開することが重要である。こう

いった原点を再確認する必要があると考える。

〈校長〉

- ・学校に一つの魅力が位置付いていることの重要性はよく分かる。地域資源を生かすことが減ってきているのも事実である。授業の魅力を再確認する必要はあると感じる。

〈荒治評議員〉

- ・附属の研究は教科研究であると考え。「自分の担当教科はこうだ」と言い切れるようになっていることが重要である。

〈田邊評議員〉

- ・学校以外の話をしたい。おじいちゃん、おばあちゃんがいる環境で育つ子供とそうでない子供は違う。
- ・「六本木ヒルズ」は、森ビルを建てることだけでなく、その後の街づくりが重要だった。住民をどう巻き込むかが大切だった。
- ・どこの組織でもゴールはない。人それぞれの満足度はある。目標達成を促す言葉も重要、褒めて伸ばすという言葉も重要である。
- ・附属と公立を比べても、よい・悪いはすぐには分からない。一緒に参加してみてやっと分かる。

〈坂本評議員〉

- ・お年寄りを巻き込んでいくことが重要と考える。地域に根差すものが、附属小にもあったらよい。附属の魅力となると考える。
- ・最近、祖父母向けに「孫育て」をテーマにした講演をしてほしいと言われる。祖父母にも協力をお願いしたらよい。

〈山崎評議員〉

- ・附属小の伝統とは何かについて、今一度考え直すべきではないか。「教師にとっての伝統」「子供にとっての伝統」「保護者にとっての伝統」がある。保護者は自分にとって都合のよいことしか言わないので、OBにとっての伝統をヒアリングして、伝統を再確認するとよい。

〈荒治評議員〉

- ・あったかハートの子供たちの振り返りを見ると、子供たちがあったかハートの高まりを感じていることが分かる。しかし、保護者の評価は低い。今後、このギャップをどう埋めていくかが課題だと感じる。
- ・あったかハートの取組が3年間変わっていない。保護者の評価を高めるためにも、改善を図ったらいのではないかと。

〈山尾評議員〉

- ・参観をしていて、表情豊かな先生が多くてよいなと感じた。しかし、保護者の評価は違ったものもある。先生方の笑顔が増えていくとよい。
- ・教員に対する学校評価で、いじめに関するアンケート調査がないのはどうしてか。
- ・県教委としては、附属小で頑張り、その後、地域に帰ってきて活躍してほしいと考えている。

Ⅵ 第2回学校評議員会より

令和6年度 第2回 学校評議員会

1 日 時 令和7年3月6日(木) 13時30分～14時45分
(学校参観 13時30分～13時50分)

2 会 場 富山大学教育学部附属小学校 会議室

3 内 容

(1) 学校長あいさつ

(2) 今年度の学校運営について

① 温かい学校づくり

- ・令和4年度より「全校一斉あったかハート推進週間」として、月に1回、道徳科・学級活動を中心とした授業を実施している。(別紙参照) 子供たちの温かな心に対する意識が高まってきている。

	とても大きくなった	すこし大きくなった	あまりかわらない
令和4年度3月	55.1%	38.8%	6.1%
令和5年度3月	56.5% ↑	40.1% ↑	3.1% ↓
令和6年度3月			

→月1回授業を行うことを3年間継続している。さらに効果的な取組となるよう見直しをする。

- ・11月の教育研究発表会で、「全校一斉あったかハート推進週間」の取組を公開した。12月に行う全校集会に向けて「みんなあったかハートの学級」になるための話し合い(学級活動)を3授業(2年生、3年生、5年生)公開した。
- ・委員会活動では、登校後や休み時間にも自主的に活動する委員会が多数見られた。
→子供の自主性に頼るのではなく、教師が例を示すなどして子供の活動を具体的に支援することで、十分活動することができたという満足感や、全校の役に立つことができたという自己有用感が高まるようにする。
- ・互いに温かなメッセージの花を咲かせる「あったかハートの木」を掲示したり、日々の授業や学校行事であふれる笑顔の写真を「あったかハートTV」で紹介したりしている。授業や習い事で取り組んでいる曲を発表する「ちござくらコンサート」を開催した。
- ・4年生と特別支援学校児童、1年生と幼稚園年長児の異学年交流活動を行った。しかし、今年度は5年生と幼稚園年長児の交流活動は行うことができなかった。
→異校種・異学年交流は、上学年の子供にとって、自己有用感を強く感じる絶好の機会となる。年度初めに幼稚園や特別支援学校と連絡を取り、子供がねらいと見通しをもって活動することができるよう計画を立てる。
- ・運営委員会が中心になって、12月に「あったかハートを大きくしよう集会」を実施した。来年度も、人権を意識した児童会活動を実施する。
- ・富山県警察少年サポートセンターから講師を招き、低学年は6月に「くもくん教室(子供を性

被害から守る教室)」、中学年と高学年は7月に「ネットトラブルから自分を守る安全教室」を実施した。性暴力やネットトラブルの加害者にも被害者にも傍観者にもなってはいけないことを学ぶ場となった。

- ・学校生活に関するアンケートや教育相談を定期的に実施し、いじめの未然防止に努めている。
- ・毎週、気になる児童の情報交換を行い、生徒指導事案等の情報を全教職員で共有している。いじめと疑われる行為を発見、または、相談・通報を受けた場合は、速やかに学校安全管理室に報告し、組織的に対応している。
- ・全教職員や保護者を対象とした、いじめについての研修会を行い、いじめ問題への理解を深め、対応スキルの向上と組織的対応に努めている。保護者を対象とした講演会や児童による集会、附属学校園教職員、教育学部教職員を対象とした研修会も行っている。今年度実施した研修会や講演会、集会は、以下のとおりである。

◇4月2日(火) いじめ防止対策基本方針の共通理解

対 象：附属小学校教職員

◇4月19日(金) いじめ防止対策基本方針の共通理解

対 象：附属小学校保護者

◇7月22日(月) 事例をもとにしたいじめ対応スキル向上研修(事例研修)

テーマ：早期発見・早期対応のために

講 師：濱野 恵美 先生(富山県総合教育センター教育相談部客員研究主事)

長谷川昌也 先生(富山県総合教育センター教育相談部主任研究主事)

対 象：附属小学校教職員

◇8月27日(火) いじめ問題理解研修(伝達講習)

内 容：いじめ問題の基礎的理解と組織的対応

資 料：令和6年度いじめ問題理解基幹研修(独立行政法人教職員支援機構)

対 象：附属学校園教職員

◇9月3日(火) いじめ共通理解研修(児童理解講演会)

テーマ：「親を学び伝える学習プログラム」を体験

講 師：神川 康子 先生(富山大学名誉教授、元附属小学校校長、「親学びノート」監修)

対 象：附属小学校保護者、附属小学校教職員

◇10月9日(水) いじめ防止のための集会①(学校保健委員会)

テーマ：たっぷり睡眠 心も体も元気いっぱい

講 師：神川 康子 先生(富山大学名誉教授、エムール睡眠・生活研究所所長)

対 象：1～6年生、附属小学校保護者、附属小学校教職員

◇12月3日(火) いじめ防止のための集会②(全校集会)

集会名：あったかハートを大きくしよう集会

対 象：1～6年生、附属小学校教職員

◇12月20日(金) いじめ防止等に関する研修(伝達講習)

内 容：いじめに関する全国の状況について、いじめに関する直近の国の取組について

いじめを未然に防止するために～求められる認識の転換～

資 料：令和6年度いじめ防止等に関する普及啓発協議会(文部科学省初等中等教育局児童生徒課)

対 象：附属小学校教職員

◇ 2月5日（水） いじめ問題対応研修

講 師：飯島 有哉 先生（富山大学人文学部講師、臨床心理士、公認心理師）

対 象：教育学部教職員、附属学校園教職員

② 研究

- ・研究主題「学び続ける子供が育つ授業の創造～対話に着目して～」を掲げ、4年間の計画（今年度は4年目）で研究を進めてきた。10月に、4年間の研究をまとめた本『対話が学び続ける子供を育てる』（東洋館出版社）を出版した。
- ・11月22日（金）に教育研究発表会を行った。概要は以下のとおりである。
15 授業公開 260 名参観
講 演：「対話的で探究的な授業が育む学び続ける子供」
講 師：増田 美奈 先生（富山大学大学院教職実践開発研究科准教授）
- ・現在、来年度からの新研究に向けて、研究主題及び研究の進め方等について話し合っている。

③ 教員派遣事業

- ・今年度は、以下の教諭が県外の研究会に参加した。報告書を読み合うことで、研修で学んだ内容を共有し、互いの資質や能力を向上させることに努めた。
鳥山教諭 令和7年2月1日 東京学芸大学附属小金井小学校
眞田教諭 令和7年2月8日 筑波大学附属小学校
桑山教諭 令和7年2月9日 筑波大学附属小学校
山崎教諭 令和7年2月9日 筑波大学附属小学校

④ 働き方改革

- ・今年度より変形労働時間制をやめ、年間を通して8時15分出勤、17時退勤をしている。教員一人一人が力量を高め、業務を効率よく短時間でこなすことができるよう努めている。
- ・業務の削減として、陸上記録会を中止し、体育科の授業において学年毎に計測した。冬の体験学習はバス代の高騰もあり、中止した。来年度に向けて、運動会の半日開催、教育研究発表会の参加申込取りまとめ等の業務委託を検討している。
- ・行事等の見直しは策が尽きた状態である。大学には、正規職員配置の増員、補助員の雇用、定員児童数の見直し等を要望している。

⑤ 少年団活動

- ・今年度をもって、サッカー部は部員数の減少等により、部を廃止することになった。

(3) 令和7年度入学児童発育検査及び卒業生の進学先について

① 入学児童発育検査

実施日 令和6年12月17日(火)

		男児	女児	合計
募集人員		35	35	70
附属幼稚園	志願者数	14	19	33
	合格者数	14	19	33
附属幼稚園以外の幼稚園 及び保育所	志願者数	39	30	69
	合格者数	21	16	37

② 卒業生の進学先

附属中学校の入学検査実施日 令和7年1月25日(土)

		男児	女児	合計
在 籍		35	35	70
附属中学校	志願者数	35	34	69
	合格者数	35	34	69
富山県内公立中学校		0	1	1

(4) 学校評価の結果について(別紙参照)

① 児童・保護者アンケートの結果から

② 教員アンケートの結果から

(5) 学校評議員の意見及び指導



あったかハート推進週間の取組（10月）

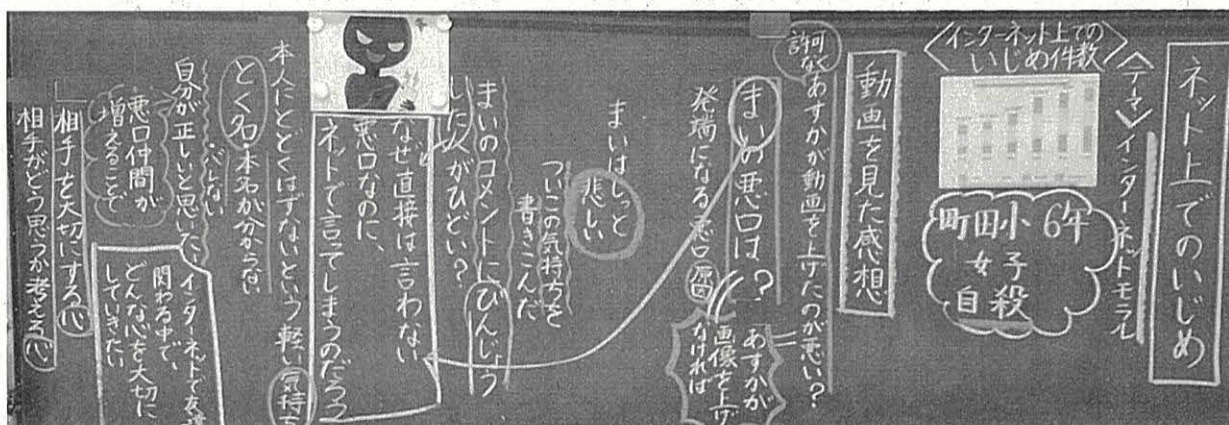
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。
10月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
10月	10/7（月）～11（金）	学級活動④ネット上のいじめの具体例から学ぶ（情報モラル教育）

1 実際の授業

【5年生】

SNSを通じたいじめの事例を取り上げ、SNSを利用する際に気を付けることについて考えました。



〈ネット上での悪口被害（抜粋）〉

小学5年生のアスカは、他県のマイとゲームアプリで知り合い、SNSでやりとりする仲になる。アスカは、マイに自分の学校のことや友達のことを伝えようと、学校名と学校で仲良くしているナナセとの写真を許可なく投稿してしまう。投稿を見たマイは、アスカと仲良くしているナナセに嫉妬し、ナナセの悪口を写真とともにネットに流す。ネットに流された悪口が拡散したことで、マイは、大勢から誹謗中傷を受け、学校へ行けなくなってしまう。後日、アスカも責任を感じて不登校になり、希望していた進路を諦めてしまうことになる。

子供たちは、以下のような感想をもちました。

- ・軽い気持ちでメッセージや写真を送らないようにしようと思いました。相手を大切にする心もちたいです。
- ・ネットに書き込む前に、本当に書いていいのかを確認することが大切だと思いました。小学生のうちは、親に確認してもらわないといけないと思いました。
- ・これからは、許可なく写真を載せたり、名前、住所、学校名等の個人情報を出したりしないよう、人を気遣う心もちたいです。

2 各学年で行った授業

- 1・2年生・・・自分のクロムブックを学びにつかうって、どういうこと？
- 3年生・・・資料「お家でのやくそく」「ネットゲームで熱くなりすぎると」
- 4年生・・・クロムブックの使い方を見直そう
- 5年生・・・資料「ネット上での悪口被害」
- 6年生・・・資料「もらってうれしいメール、もらって残念なメールとは」



あったかハート推進週間の取組（11月）

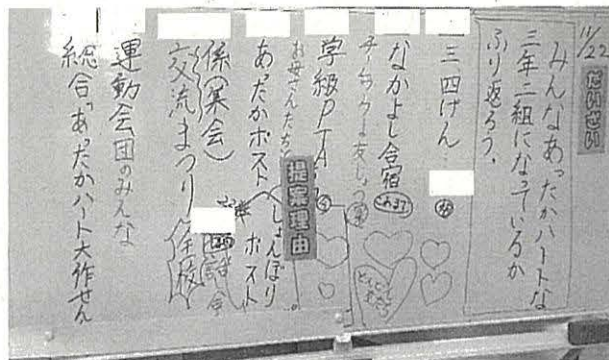
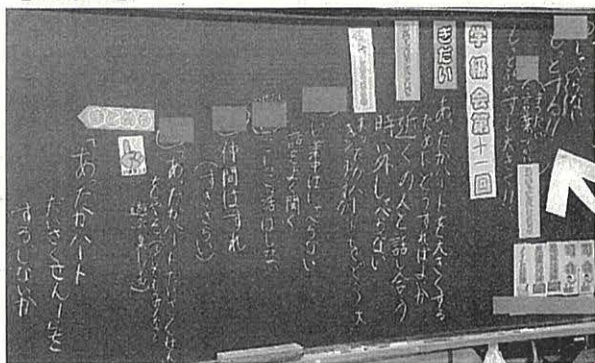
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

11月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
11月	11/22（金）～29（金）	学級活動⑤「みんなあったかハートの学級」になるための話し合い

1 実際の授業

【3年生】



3年生では、学校行事や学級での活動を振り返り、「あったかハートを大きくするための取組はどうだったか」「さらにあったかハートを大きくするためにはどうすればよいか」について話し合いました。

- ・あったかハートは大きくなったと思います。学級での話し合いを自分たちで進行したり、校外学習でお世話になったバスの運転手さんに「よろしくお願いします」「ありがとうございます」などの挨拶をしたりすることができたからです。
- ・7月までは、あったかハートが急激に成長したと思います。しかし、10月になるとチクチク言葉が聞こえることもあったので、少しあったかハートがしぼんでしまうこともあったと思います。
- ・なかよし宿では、友達とたくさん助け合うことができました。たくさんの行事を経験し、一緒に乗り越えてきたので、あったかハートは大きく成長していると思います。

2 各学年で行った授業の感想

- ・他の人の迷惑にならないように、一人一人が時間を守ることや言葉遣いに気を付けたらよいと思います。（1年生）
- ・相手が悲しい気持ちにならないように、「これは相手にとって本当によいことかな」と考えてから行動するのがよいと思いました。（2年生）
- ・みんなのよいところを見つけたり、メリハリのある行動ができたりすれば、3月には100点満点のクラスになると思います。（3年生）
- ・授業のときに、「静かな空気を保つ」ことが大切だと思いました。みんなが授業に集中できるし、よい考えも生まれるからです。（4年生）
- ・メリハリをつけて行動し、時間を守ることが大切にしていきたいです。また、自分の明るい性格を生かして、一緒にいて楽しい人になりたいです。（5年生）
- ・この話し合いの直後は、あったかハートを意識するけれど、それが続かないと意味がないと思います。習慣付けることが大切だと思いました。（6年生）

どの学年からも、学級の実態から課題を把握し、あったかハートが大きくなるよう考えを出し合っている様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。



あったかハート推進週間の取組（12月）

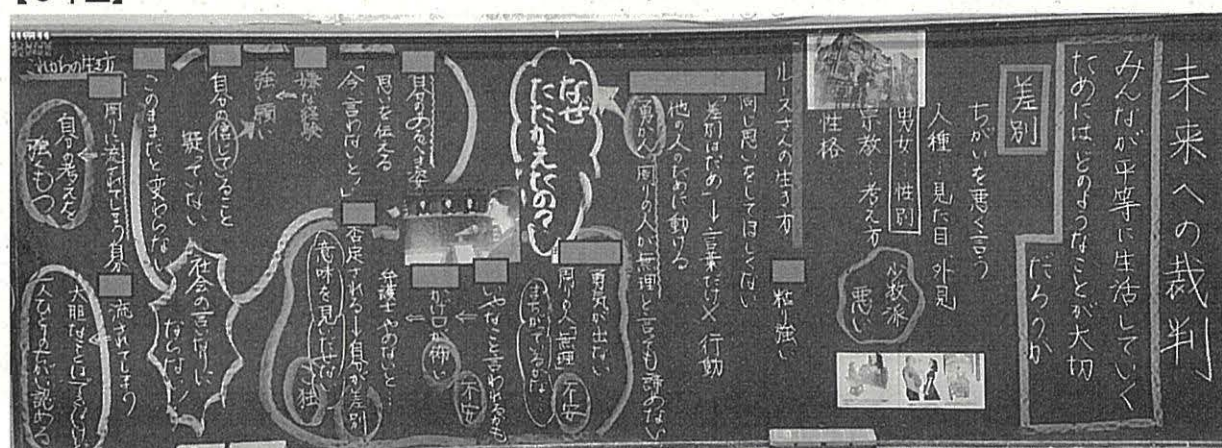
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

12月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
12月	12/9（月）～13（金）	道徳科③ 内容項目：公正、公平、社会正義

1 実際の授業

【6年生】



6年生は資料「未来への裁判」を読んで、みんなが平等に生活していくためには、どのようなことが大切なのかについて話し合いました。「未来への裁判」は、女性に対する様々な差別を受けながら弁護士となったルースが裁判を通してあらゆる差別と戦い、多くの人を力づけ、アメリカの裁判の歴史を変えたというお話です。

子供たちは、差別と戦い続けたルースの生き方や、なぜルースは、当時、勝てるはずがないと言われた裁判で戦おうとしたのかについて、以下のような考えをもちました。

- ・ルースは、過去に差別を受けた悔しさを原動力に裁判を戦ったのだと思います。また、裁判の勝ち負けに関わらず戦うことで、差別をされている人の気持ちや考えが伝わり、少しでも世の中が変わればよいと考えたのだと思います。
- ・自分の考えを正直に主張できる人になりたいと思いました。ルースのように国を動かす主張はできないけれど、自分の経験を生かして辛い思いをしている人に手を差し伸べることはできると思いました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・わがままを言わずに、自分の気持ちも正直に伝えようと思いました。（1年生）
- ・相手によって態度を変えると、後で自分に返ってきて互いに嫌な気持ちになるので、みんな平等に接すると自分も相手も嬉しいと思いました。（2年生）
- ・仲良しだから注意しないのは、本当のあったかハートではないと思いました。本当のことを言うことは大切だと思います。（3年生）
- ・障害がある人に、絶対に差別をしてはいけないと考えました。（4年生）
- ・女性が差別を受けると男性にも影響することになると分かりました。差別はよくないと思いました。（6年生）



あったかハート推進週間の取組（1月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

1月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
1月	1/15（水）～28（火）	児童会活動① 低学年・中学年・高学年フロア集会

1 実際の授業

【低学年】

1年生主催の「低学年あったかハート集会」が行われ、新聞じゃんけん、貨物列車ゲーム、自己紹介ハイタッチゲームを楽しみました。他の学級や学年の仲間に進んで関わったり、協力して体を支え合ったりするなど、微笑ましい姿がたくさん見られました。

集会後には、「他のクラスの人と仲良くなれて嬉しかったです」「あったかハートの輪が大きくなったと思います」と感想を述べる様子が見られました。



【中学年】

3年2組主催の「中学年集会」が行われ、仲間集めゲーム、あったかハートの輪を広げよう大作戦、ちぎり絵～ぼく・わたしたちのあったかハート～を楽しみました。

集会後の振り返りでは、「普段あまり話せない人と話すことができたので嬉しかったです」「違う学年の友達ができました」「たくさん交流することで、あったかハートが高まったなと思いました」などの感想が見られました。

【高学年】

5年1組主催の「受検頑張ってね集会」が行われました。受検に向けて頑張る6年生を応援したいという気持ちから、この集会が企画されました。集会では、クイズや6年生に向けてのエール、プレゼント渡し等が行われました。

集会後、5年生は、「プレゼントしたお守りを喜んでもらえて嬉しかったです」「受検に向けて頑張る6年生がリフレッシュできたと思います」と活動を振り返っていました。また、6年生は、「受検まで1週間もないため緊張していましたが、5年生の皆さんのおかげで、少し緊張が解けた気がしました」「最近はずっと勉強ばかりだったけれど、リラックスして楽しむことができました。エールもとてもおもしろくて、たくさん元気が出ました」と活動を振り返っていました。



フロア集会を行うことで、他の学年や学級の素敵なおともや互いのよさを感じながら、あったかハートをさらに大きくすることができました。



あったかハート推進週間の取組（2月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

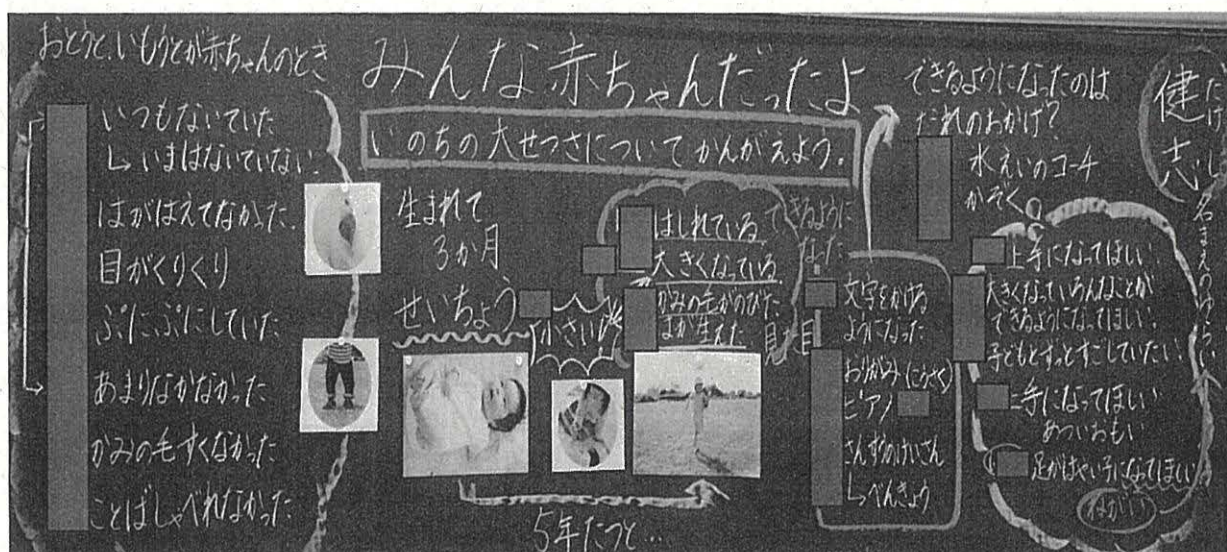
2月は、以下の内容で授業を行いました。

月	期 間	内 容
2月	2/3（月）～12（水）	道徳科の授業④ 内容項目：生命の尊さ

1 実際の授業

【1年生】

「みんな赤ちゃんだったよ」を読んで、自分ができるようになったことや、命の尊さについて考えました。



子供たちは、授業後の振り返りカードに以下のような感想を書きました。

- ・命の大切さや家族の思いについて考えることができました。家族の思いがあるから、大きく育ててくれたのだと思いました。
- ・命はとても大切だと思いました。家族は「いろいろなことができるようになってほしい」という気持ちをもっていることが分かりました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・命は一つで手に入らないものだから、もっと家族を大切にしたいと思いました。（2年生）
- ・犬を飼っています。毎日の世話は大変だけれど、飼っていると命の尊さを感じます。（3年生）
- ・私には弟がいます。言葉では「好きではない」と言ったこともあるけれど、心の中では「精一杯生きてほしい」と思っています。誰にでも大切な人がいるのだなと思いました。（4年生）
- ・勇気をふりしぼって行動してくれる人がいるから、みんなの命が救われたのだと思いました。自分も人を助けたいと思いました。（5年生）
- ・「生きる」とは、毎日を踏みしめ、命という簡単に壊れやすいものを大切にして、一步一步考えて進むことだと思いました。（6年生）